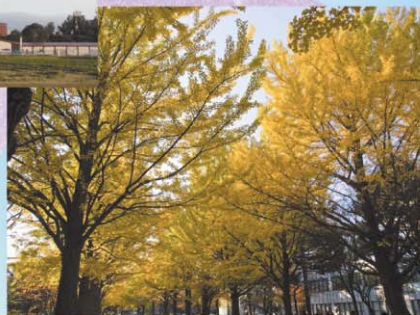




北大生協  
2010年度  
環境報告書



# 目次

<b>1. 専務理事あいさつ</b>	03	<b>5. 事業改善への取り組み</b>	
<b>2. 北大生協環境活動概要</b>		◇省エネルギー・省資源	12
◇事業概要	04	・電気使用量	
◇環境実施体制	05	・ガス使用量	
・環境実施体制		・ガソリン・軽油・重油使用量	
・2010年度の委員会活動		・水道使用量	
<b>3. 2010年度のまとめ（自己評価と課題）</b>		・レジ袋使用量	
◇組合員・社会に向けた取り組み	06	・紙資源回収量	
◇事業改善の取り組み	07	◇資源の循環利用	14
◇北海道大学との協力	08	・ごみの分別状況	
<b>4. 組合員との環境活動</b>		・食堂廃油のBDF化	
◇環境配慮への啓蒙活動	09	・国産間伐材割り箸の使用	
・水ツアー		・ビン・缶・ペットボトルの再資源化	
・大学祭でのごみナビゲーション		・産業廃棄物	
・エコプロダクツ展への出展		・使用済みトナーカートリッジ回収	
◇組合員支援	11	◇環境保全	17
・生ごみ堆肥化プロジェクト		・グリーン適合商品の優先供給	
		・食堂排水の管理	
		・不要・放置自転車の回収	
		<b>6. 組合員・地域の方へ</b>	19

## 北大生協環境方針（2005年10月理事会にて策定）

私たち北海道大学生協同組合は、「環境保全は私たちの行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的且つ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定します。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防を図り、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めていきます。

1. 北海道大学の環境方針、環境関連の法律、規制、条例及びその他受け入れを決めた事項を遵守します。
2. 北海道大学の環境マネジメント実施体制に積極的に参画します。それらの活動に参加する組合員の活動を応援します。
3. 生協施設における電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。
4. 環境負荷に配慮した商品の開発・改善・普及をすすめます。また「グリーン購入」の取り組みを推進します。
5. 学生・院生の環境配慮に関する活動の場をたくさん作り、北大構成員自身による環境活動を広げます。

# 専務理事挨拶

---

## —2010 年度 環境配慮への取り組み紹介 に寄せて—

2005 年度から行っております「環境配慮への取り組み紹介」を今年も作成いたしました。なお、取り組み紹介は 2007 年度より名称を「北大生協 環境報告書」として作成しております。

北海道大学では、今年で 5 年目となります持続可能な社会の実現に向けた“サステナビリティ・ウィーク”の開催を予定して、より良い未来に向けた一步を探ることであります。



北大生協は、2005 年 9 月に北海道大学の環境方針が定められたことを受けまして、2005 年 10 月に北海道大学の環境方針に沿って環境負荷の低減と環境保全に努めるために「北大生協環境方針」を決定しました。さらに「環境保全は私たちが行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的かつ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定してまいりました。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防をはかり、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めています。

この間の取り組みをご紹介しますと、2006 年度から行っている①道内産の森林育成につながる割り箸の採用（06 年 10 月から）②食堂から出る廃油の再資源化（06 年 11 月から）③大学内の放置自転車の再資源化（06 年 11 月から）④北大女性研究者支援室に協力したトナー・インクカートリッジの回収（07 年 9 月から）⑤食堂を中心としたごみ分別強化（07 年 10 月から）⑥レジ袋の削減と水道等の使用実績の削減に向けた取り組み（09 年）などを行っています。2010 年は「水ツアー」で札幌市下水道科学館やダム資料館等の見学を行ったほか、フォーラム等に参加して北大生協の活動を紹介しています。大学内の放置自転車のリサイクルの取り組みの状況では、1 年間で 782 台の回収を行っています。学内の放置自転車を減らし、リサイクルに関心を持ってもらうことや、大学部局との連携により放置自転車の減少につながるような活動を行っています。

今後は、理事会のもとに設置した環境課題推進委員会で、2010 年度の取り組みを踏まえて、引き続き環境課題に取り組んでまいります。

毎年、確実に一步・一步前進していきたいと思っておりますので、引き続きご指導をお願いします。

2011 年 5 月 1 日  
専務理事 中村 伸司

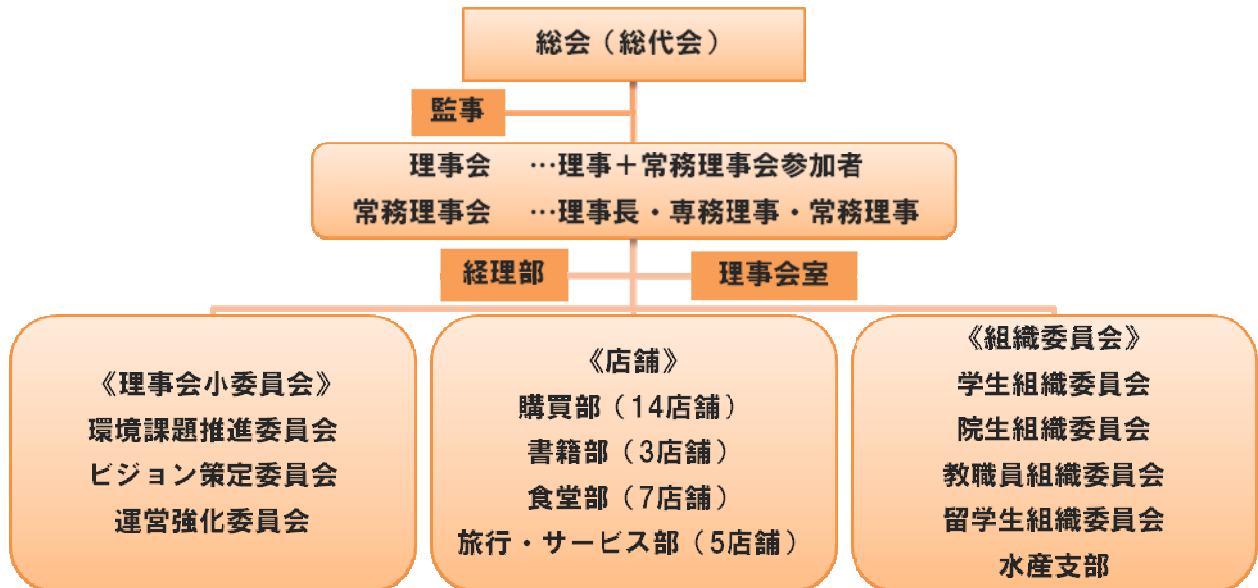
# 北大生協環境活動概要

## ◇ 事業概要

《事業規模》

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
組合員数（人）	29,193	29,610	29,812	29,904	29,544	
出資金総額（千円）	452,790	454,560	455,110	450,207	439,108	
供給総額（千円）	6,504,334	6,342,700	6,245,410	5,854,262	5,677,527	
内訳	購買部	2,582,035	2,573,305	2,735,554	2,474,952	2,348,509
	書籍部	991,757	966,893	930,607	924,317	860,133
	食堂部	770,083	792,891	1,019,284	805,011	821,133
	旅行部	1,875,766	1,684,456	1,202,969	1,372,580	1,375,614
	その他サービス	284,693	325,155	356,996	277,402	272,158
経常剰余（千円）	25,342	24,897	26,241	40,918	35,745	
正規職員数（人）	61	61	58	51	52	
非正規職員数（人：正規換算）	208	208	218	221	221	

《2010年度運営組織図》



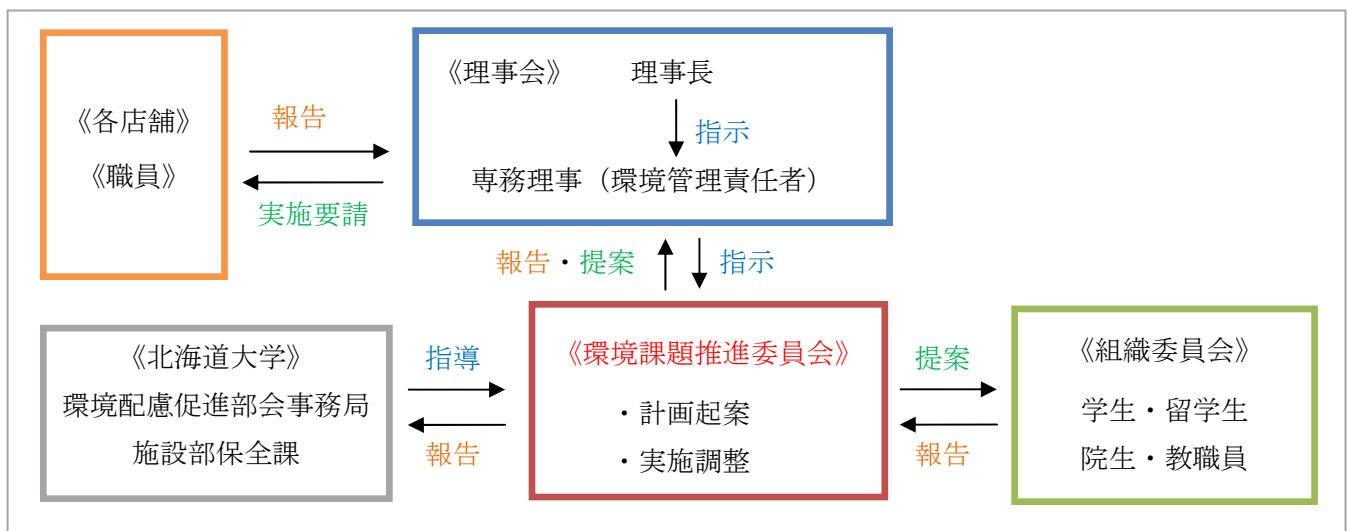
理事会小委員会は、北大生協の各組織を横断して、学生・院生・教職員・生協職員が参画しながら特定の課題を推進するために設置されます。理事会の下部組織であり、各年度当初の総代会で設置が承認されます。

環境課題推進委員会は2008年度より毎年設置承認され、常任のメンバーとして各組織委員会の委員や理事会室職員が参加しています。また、議題によっては各店舗の店長や監事ともオブザーバーとして意見交換しながら、北大生協として取り組むべき環境課題について提言を進めてきています。

## ◇ 環境実施体制

### ■ 環境実施体制

北大生協環境課題推進委員会は、理事会の指示の下で各店舗や組織委員会に対して環境対策の諸提案を行います。また、北大生協の環境活動について北海道大学に報告し、指導を受ける窓口となっています。北海道大学内外のサークル・研究室等からの協力要請に対して、理事会に諮りながら協力・支援をしています。



### ■ 2010年度の委員会活動

《メンバー》

委員長 早川（学部生）

委員 小倉・中川・井上・齊藤・倉元（以上学部生）、萩野・藤部（以上院生）、坂爪（教員）

事務局 後藤・片木（以上理事会室職員）

《委員会としての主な活動》

- ・ 6月9日に環境課題推進委員会準備会を、7月16日に、第1回環境課題推進委員会を開催しました。その後、夏休みを除きほぼ毎月総計10回の委員会を開催しました。
- ・ 7月10日に「大人の社会科見学 水ツアー」を開催しました。食堂厨房のグリストラップ、札幌市下水道科学館・創成川水プラザ、定山溪ダムなどを見学し、グループで交流しました。参加者は11名でした。
- ・ 10月22日～23日に横浜市立大キャンパスにて開催された、全国大学生協連主催の「環境セミナー」に学生2名を派遣しました。分科会で水ツアーの報告を行いました。
- ・ 11月20日に東京国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「エコキャンパスフォーラム2010」に環境委員会から学生2名を派遣し、国内外の大学キャンパスでの環境活動について交流・学習してきました。
- ・ 12月9日～11日に東京国際展示場で開催された「エコプロダクツ2010」へ、学生2名を派遣しました。北大生協の環境の取り組みを紹介しました。
- ・ 2010年度環境報告書を作成しました。

# 2010年度のまとめ（自己評価と課題）

## ◇ 組員・社会に向けた取り組み（北海道大学環境報告書の「社会への貢献」に対応）

環境項目	2010年度の環境目標	取り組み・成果	今後の課題
情報公開	・2010年度の環境課題・目標を作成し公開します。	・上期環境報告書公開（HP） ・年度環境報告書公開（HP）	・年度2回の報告書公開を続けます。
	・引き続き大学との協力関係を築いていきます。 ・北大内の環境に関心のある団体と連絡を取り合って交流をしていきます。	・エコプロダクツ2010への、環境科学院・公共政策大学院・農学院生との共同出展 ・堆肥化プロジェクトへの協力	・現在交流を行っている団体・研究室の方との交流・支援を積極的に行います。
地域貢献	・機関紙やHPを通じて、環境への取り組みを知らせていきます。 ・組員と一緒に環境について学習できる機会を増やします。	・水ツアー実施 ・ごみナビゲーション実施 ・エコプロダクツ展への出展	・機関紙やHPを通じて、環境への取り組みを知らせていきます。 ・組員と一緒に環境について学習できる機会を増やします。

※「環境項目」は北海道大学環境報告書に対応しています。

## ■ 自己評価

- ①情報公開（環境課題・目標の作成・公開） \_\_\_\_\_ ○
- ②地域貢献（北海道大学及び諸団体との協力・交流） \_\_\_\_\_ ◎ →p.10-11
- ③地域貢献（取り組み広報、組員との学び） \_\_\_\_\_ ○ →p.09-10

（昨年度の達成度との比較 ◎=より改善 ○=同程度の達成 △=届かず ×=実績なし）

どの項目でも、基本的に昨年度の取り組みを継続することができました。「エコプロダクツ2010」への出展を通じて、これまでも交流のあった環境科学院の院生の方に加え、公共政策大学院や農学院の方とも活動の交流を行うことができました。昨年度より準備が進められていた生ごみ堆肥化プロジェクトが実現し、協力を行っています。また、昨年度から引き続きのごみナビゲーション・エコプロダクツ展出展に加え、新たに浄水場や排水処理施設などを見学する「水ツアー」を実施しました。

## ■ 今後の課題

### ①情報公開（環境課題・目標の作成・公開）

2011年度の環境の課題と目標を作成し、HPで公開します。また、上期終了時・年度末の2回、環境報告をまとめHP上で公開します。北大生協の新「ビジョン」や昨今の社会情勢の変化を踏まえ、これまでの環境方針の総括と新しい環境方針の策定を行います。

### ②情報公開（取り組みの広報、大学・学内団体との協力・交流）

機関誌・HPでの広報を推進し北大生協の取り組みを知っていただくとともに、大学や環境に関心のある団体との交流を推進し、環境活動における協同・協働を進めます。

### ③地域貢献（組員との学び）

組員とともに環境について学び、考えることのできる機会を増やします。他大学・他団体の取り組みを積極的に学び、取り組みの質の向上を目指します。

◇ **事業改善の取り組み**（北海道大学環境報告書の「環境負荷の低減」に対応）

環境項目	2010年度の環境目標	取り組み・成果	今後の課題
省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年も全店でクールビズに取り組みます。</li> <li>エネルギー使用量削減を生協職員に呼びかけます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールビズ実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クールビズを全店で行うとともに、店舗の冷暖房効率を向上し、エネルギー削減を進めます。</li> </ul>
省資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き使用率を計測・公開し、削減に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レジ袋使用率は目標数値を達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レジ袋以外の資源の節減にも積極的に取り組みます。</li> </ul>
資源の循環利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみの分別を強めることで、全体の資源化の比率を上げていきます。</li> <li>各店長と、削減のための方策について話し合う機会を設けます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部店舗で資源化率が低下</li> <li>各店長と協力して改善に努めています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生ごみなどの分別を再度徹底し、再資源化率を高めます。</li> </ul>

※「環境項目」は北海道大学環境報告書に対応しています。

■ **自己評価**

①省エネルギー（クールビズ、エネルギー使用量削減）	_____	△	→p.12-13
②省資源（レジ袋、紙類の節減）	_____	○	→p.13
③資源の循環利用（ごみの再資源化、トナー回収）	_____	○	→p.14-17

省エネルギーは、昨年度の取り組みを継続し、全体としては使用量を前年度並みに抑えることができました。ですが、はるにれが2009年4月に閉店したことを考えると、実質的な使用量は微増となっています。電気については、店舗での取り組みの様子を委員会のメンバーが確認するなどして徹底を図りました。一方で、資源の節減や、ごみの分別についてはほぼ昨年度と同等か改善されています。

■ **今後の課題**

①**省エネルギー（クールビズなど）**

継続して行っているクールビズを来年度も実施するとともに、現状の店舗設備等の環境の中でもできる改善方法を検討します。職員の意識喚起をすすめます。

②**省資源（レジ袋など）**

レジ袋使用率の計測を継続し、中央店・会館1階は25%、その他の店舗は10%の目標を維持できるよう、職員・組合員への呼びかけを続けます。レジ袋・紙以外の資源の節減についても、可能な取り組みを検討していきます。

③**資源の循環利用**

生ごみを中心とした店舗での分別を引き続き徹底し、分別率を高めます。廃油回収・トナーカートリッジ回収については、引き続き組合員からの回収を推進します。

◇ 北海道大学との協力（北海道大学環境報告書の「環境負荷の低減」に対応）

環境項目	2010年度の環境目標	取り組み・成果	今後の課題
グリーン購入法	・グリーン購入法の知識を深めるための学習会をします。	・取り組みなし	・仕入れ商品の見直しや店舗での表示なども含めて、店舗での推進方法を検討します。
環境保全	・引き続き、日常管理を強めて、排水浄化に努めます。具体的な方策について、提案していきます。	・水質検査（年1回）実施 ・日常清掃を強化	・さらなる水質浄化のための方策を、店舗と協力して検討していきます。
	・学内に自転車を放置しないよう組合員に呼びかけるとともに、大学部局との連携を密にして放置自転車の減少に努めます。	・引き取り依頼10学部600台 ・持ち込み182台	・大学部局との連携を維持するとともに、組合員への呼びかけを強めます。

※「環境項目」は北海道大学環境報告書に対応しています。

■ 自己評価

①グリーン購入の推進（商品選定、学習会）	×	→p.17
②環境保全（排水の水質浄化）	○	→p.17
③環境保全（放置自転車・不要自転車回収）	△	→p.18

グリーン購入は、今年も具体的な取り組みを行うことができませんでした。品質の信頼できる商品の選定が課題となっています。水質浄化については、1日2回行っている店舗ごとの清掃について、各店舗とも協力しながら排水の改善に努めています。自転車の回収では昨年度に比べ、協力を得られる大学部局の数・放置自転車回収数・組合員からの引き取り数がいずれも減少しました。放置自転車が減少するのは望ましいことですが、まず放置されないように、不要自転車は持ち込んでいただけるように呼びかけをしていく必要があります。

■ 今後の課題

①環境負荷の低い商品の購入推進

グリーン購入もひとつの選択肢としながら、環境負荷の低い商品を優先的に購入することを推進します。また、それらの商品が組合員にもわかるような表示をするなどの取り組みも検討していきます。

②環境保全（水質浄化）

店舗からの排水の浄化に向けて、店舗での努力を続けます。店舗と相談しながら、日常清掃の強化等をすすめます。

③環境保全（放置自転車回収）

大学部局と引き続き連携し、放置自転車の回収をすすめます。また、放置する前に組合員から店舗に不要自転車を持ち込んでもらえるよう、広報を推進します。



# 組合員との環境活動

## ◇ 環境配慮への啓蒙活動

事業系の環境負荷低減に加えて、組合員向けに環境問題への意識付けを目的とした活動を行いました。

### ■ 水ツアー

日常生活に欠かせない「水」の利用・排出・再生を見て学び、水質保全や水環境について考えることを目標とした組合員向けのバスツアー企画を行いました。

ダムの持つ治水や環境保全効果、下水処理場から出た再生水による涸れ川の再生などを知り、知識を深めた参加者が多く見られました。また、ダムの規模や周辺で行われている環境保全活動の存在、水の移動距離にスケールの大きさを感じ「環境問題」という言葉の大きさに考えを巡らせた参加者もいました。市内出身者の中には見学場所を訪れるのが2度目となる人もいましたが、大学生として改めて訪れることで新しい知見を得、考えを深めることができました。

北大生協環境課題推進委員会としては初めて、本委員会が主導して組合員向けのツアーを企画しました。今後も、組織委員会や外部の組織と連携をとりながら、イベントの開催や刊行物の発行などを通じて、環境問題への関心を高める提起を行っていきたいと思います。

#### 《企画概要》

実施日時：2010年7月10日（土）

参加人数：11名（学生10名、院生1名）

見学場所：北大生協クラーク食堂グリストラップ

創成川水プラザ、下水道科学館

定山溪ダム、定山溪ダム資料館

車内企画：水道水飲み比べ（札幌、小樽、旭川、北見、帯広）

#### 《参加者の声》

一見学で印象に残っていること

- ・下水の歴史が面白かった。今は当たり前だと思っているこのような処理施設も歴史がそれほど深くないことに驚いた。
- ・処理前後の下水の変化と、地下の貯留管の大きさが印象に残った。
- ・冬季に融雪の用途で使用されているなど、小学生のときに学んだことをふと思い出したこと。



## ■ 大学祭でのごみナビゲーション

6月上旬に大学構内で開催された大学祭でごみの分別を呼びかける活動「ごみナビゲーション」を行いました。2002年から活動を継続し、今年で9年目を迎えました。3年前から始まった榊原祭事務局との協力、連携を活かしながら、榊原祭内に設置されたごみ箱の前で来場者に分別を呼びかける活動を行いました。

また、大学祭に来場した子どもに向けて、学生組織委員が「環境戦隊ごみナビジャー」に扮してヒーローショーを行いました。天候に恵まれず1回のみで開催となってしまいましたが、大学祭の雰囲気を活かして、多くの人に環境問題への関心を高める働きかけをできました。

生協学生委員会と有志の北大生が少数で活動を行っていた9年前から、大学祭の実行委員会と連携を取ったり出店者からごみナビを行う人を募集したりと、活動の規模が広がってきています。今後もこの活動を続けていくとともに、大学祭などのイベントを通しての活動の幅を広げていきます。



### 《概要》

実施日時：2010年6月3日（木）～6日（日）

ごみナビジャーショー：高等教育推進機構前で開催

## ■ エコプロダクツ展への出展

環境科学院と公共政策大学院で展開している「持続可能な低炭素社会づくり」プロジェクトの一環として、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」に出展いたしました。

北大生協は、北海道大学学内でやっている環境活動の紹介を行うブースの中でポスターにて諸活動の紹介を行いました。水ツアーやごみナビゲーション、放置自転車の回収、廃油・包装容器のリサイクルに関して、他大学の学生や事務局の方や企業の方と交流・情報交換の場を持つことができました。また、ブースに来た子どもたちにごみナビジャーの動画を放映するなど、展示会に来場した多くの人に北大生協で行っている活動を紹介することができました。

### 《概要》

開催・発表日時：2010年12月9日（木）～11日（土）

実施場所：東京国際展示場（東京ビッグサイト）

発表ブース概要：北海道大学環境対策ブース「キタエコ」

ブース来場人数：約300名程度

The collage features several informational posters from the 'UNIV CO-OP' booth. Key elements include:

- UNIV CO-OP 北海道大学生協同組合 (北大生協) 環境対策の取り組み**: The main title of the booth's environmental initiatives.
- 北大生協の環境方針**: A poster detailing the organization's environmental policy and goals.
- 水ツアー**: Information about water tours, including a map and details about the activities.
- ごみナビ**: A poster about the 'Gomi Navijya' activity, featuring a character and instructions.
- リサイクル**: A poster about recycling, including a diagram of the recycling process and a list of participating companies.
- 放置自転車回収**: Information about bicycle collection services.
- 廃油・包装容器のリサイクル**: Information about recycling used oil and packaging containers.
- SDP・SDP**: Information about the Sustainable Development Project (SDP).
- ごみナビ**: Another poster about the 'Gomi Navijya' activity, showing a character and a map.
- 水ツアー**: Another poster about water tours, showing a map and details.
- リサイクル**: Another poster about recycling, showing a diagram and details.
- 放置自転車回収**: Another poster about bicycle collection, showing a map and details.
- 廃油・包装容器のリサイクル**: Another poster about recycling used oil and packaging containers, showing a diagram and details.
- SDP・SDP**: Another poster about the Sustainable Development Project, showing a map and details.

## ◇ 組合員支援

### ■ 生ごみ堆肥化プロジェクト

北大環境科学院の藤井先生の研究室が行っている生ごみの堆肥化プロジェクト「少年よ、堆肥を抱け！」への食堂の生ごみ提供を行っています。

#### 《プロジェクト概要》

北大内で発生する生ごみを学内で堆肥化し、出来上がった堆肥を学内の農場で使用するなどして学内循環させます。学内から出る生ごみ全量の堆肥化を長期的な最終目標としますが、まずは実験的に小規模で行います。北大生協では、毎月2回ほど中央食堂で発生した生ごみを提供しています。

#### 《プロジェクト実施者からの報告》

北海道大学札幌キャンパスはバイオマス資源に恵まれた北海道の総合大学として、日中は2万人あまりの人々が様々な目的意識の下活動している、いわば「社会の縮図」です。本プロジェクトは北海道大学ならではの特色を踏まえ、学内で発生する食品残渣、家畜糞尿といった有機性廃棄物の堆肥化による学内循環システム構築に向けた基盤整備及びデータ収集のための実験を行っています。

具体的には、キャンパス内で発生した食品残渣(生ごみ)、乳牛糞尿を学内で堆肥化し、作られた堆肥を学内農場で使用、栽培された作物を学内で消費する一連のシステム構築を目指しています。これにより学内完結型の資源循環システムを構築することができ、これまで廃棄物として費用を投じて処理していた食品残渣や乳牛糞尿を堆肥として再利用することで廃棄物発生量を削減することができます。また、窒素やリンなどの肥料成分を学内で循環させることができるようになり、学外からの資源投入量の削減も期待できます。

現在、本学大学院環境科学院、農学院の大学院生数名が主体となり、北方生物圏フィールド科学センターの農場及び畜産施設において、以下の2通りの方法で学内から排出される有機性廃棄物の堆肥化を行っています。

1. 畜産施設から排出される乳牛糞尿と学生食堂から排出される食品残渣の堆肥化を定期的に行っています。この過程における乳牛糞尿・食品残渣投入量、気温、堆肥成分内の温度・密度・含水率・配分組成比、そして実験に要した人数・時間等を継続的に測定しています。
2. 固液分離技術を利用し、堆肥成分の水分量低下を試みています。今回、新たに学内畜産施設に導入した固液分離機を用いて、学内で発生している有機性廃棄物の水分量を均一なものとし、堆肥成分の均一化、作業効率の向上を図っています。

(環境科学院 修士2年 久保弦さん)



生ごみ投入直後(左)と堆肥化後(右)



堆肥を空気に触れさせる作業の様子

# 事業改善への取り組み

## ◇ 省エネルギー・省資源

### ■ 電気使用量

店舗名	09年度	10年度	前年度比
会館店	478,280	484,176	101.2%
会館融雪	1,628	3,279	201.4%
北部店	357,392	323,698	90.6%
工学部店	164,997	185,675	112.5%
中央店	242,435	261,570	107.9%
薬学部店	19,761	19,912	100.8%
保健学科店	24,467	24,711	101.0%
獣医学部店	24,876	24,505	98.5%
学生寮店	4,795	5,350	111.6%
クラーク会館	179,176	182,688	102.0%
農学部店	58,020	54,762	94.4%
医学部店	108,340	124,372	114.8%
ポプラ店	52,450	53,627	102.2%
はるにれ	40,239	閉店	
その他自販機	127,595	154,874	121.4%
合計(kwh)	1,884,451	1,903,199	101.0%

今年度の冬季は平年並みの降雪があったため、雪が平年より少なかった昨年度に比べ会館店融雪用電力が倍増しています。また今年度も昨年度に引き続き、6月～9月にかけて大学に合わせて全店でCool Bizに取り組みました。

8月には環境委員会で電力の使用状況を各店舗に出向き調査をしました。各店舗における冷房やエアカーテンの利用状況を確認し、冷房のこまめな温度調整をするために温度計の設置を各店舗にすることを提案しました。

しかしながら2010年の夏は記録的な猛暑であり、上半期での各店舗での冷蔵・冷凍庫の電気量および店舗の冷房にともなう電気量が増加し、下半期は節約できましたが年度トータルでは微増となりました。

※各店の電気使用量は各エリアの自販機を含む。

### ■ ガソリン・軽油・重油使用量

	09年度	10年度	前年度比
ガソリン(ℓ)	8,885	9,535	107.3%
軽油(ℓ)	1,760	1,630	92.6%
重油(ℓ)	14,000	19,000	135.7%
軽自動車(台)	33	32	
ワゴン車(台)	3	3	

ガソリンは32台の営業車(軽自動車)で使われております。台数にほとんど変化はありませんが、使用量が増加しています。重油は会館店暖房用ボイラーとして使用されています。重油使用量が増加しているのは、昨冬は気温の変動が激しく、平年より気温の低い日が多かったためだと考えられます。

### ■ ガス使用量

	09年度	10年度	前年度比
北部食堂	102,932	111,291	108.1%
工学部食堂	24,129	26,584	110.2%
中央食堂	47,849	48,282	100.9%
クラーク食堂	38,503	37,269	96.8%
農学部食堂	5,666	5,138	90.7%
医学部食堂	19,521	20,529	105.2%
ポプラ	5,852	7,074	120.9%
はるにれ	8,042	閉店	
合計(m <sup>3</sup> )	252,494	256,167	101.5%

2009年度は工学部食堂(09年3月)と北部食堂(10年2月)でリニューアルに伴い閉店したため、前年比では増加しています。北部食堂・医学部食堂・工学部食堂・レストランポプラでは、客数の前年比増にともなってガス使用量が増加しています。

※ガスは各店ごとに北ガスと北大から供給を受けています。

## ■ 水道使用量

	09年度	10年度	前年度比
会館店	807	781	96.8%
北部食堂	8,089	8,854	109.5%
中央食堂	7,015	6,996	99.7%
クラーク食堂	3,026	3,200	105.8%
農学部食堂	738	711	96.3%
医学部食堂	1,953	2,201	112.7%
はるにれ	784	閉店	
合計(m <sup>3</sup> )	22,412	22,743	101.5%

北部食堂、医学部食堂では客数増加にともなって水道使用量が増加し、2009年10月のはるにれ食堂閉店による使用量減少を相殺しています。また使用量増加の原因として、夏の猛暑の影響で冷たい麺類の出食が増えたことでもあります。引き続き、蛇口を絞って流量を少なくする取り組みなどをすすめ、必要以上の水を使用しないようにしていきます。

## ■ レジ袋使用量

購買店舗名	09年度	10年度	前年度比	10使用率
会館店1階	87,700	54,602	62.3%	22.7%
北部店	63,500	20,693	32.6%	6.7%
工学部店	32,700	19,973	61.1%	4.8%
中央店	62,100	66,843	107.6%	23.0%
薬学部店	9,300	4,371	47.0%	11.2%
保健学科店	7,300	3,446	47.2%	9.1%
獣医学部店	8,000	1,481	18.5%	8.8%
水産店	4,000	7,000	175.0%	11.3%
農学部店	6,300	3,976	63.1%	7.1%
医学部店	10,600	3,960	37.4%	13.6%
ポプラ店	集計なし	1,616		8.2%
合計(枚)	291,500	187,961	64.5%	12.1%

北大生協では2007年10月からレジ袋削減に取り組んでいます。今年度は昨年度の状況を反映し、目標をこれまでの「北部店10%以内、その他店舗15%以内」から「(観光客等の利用が多い)中央店・会館1階は25%、その他の店舗は10%」に変更しました。

今年度は北部店の使用量が激減し、その他多くの店舗でも使用量が低下しました。一方で中央店では使用量が増加しています。中央店は学部棟の中にある学部店と違い、雨天など天候が悪いときや夜などには使用率が上がる傾向にあり

ります。また、一部学部店でも使用率10%以下の目標が未達成の店舗があります。引き続き組合員への呼びかけを続け、全店舗の目標達成を目指します。

※学生寮店、コップパン店、2009年度ポプラ店は除く。購買部のみ。

## ■ 紙資源回収量

古紙類	09年度	10年度	前年度比
会館店	32.75	34.70	106.0%
北部店	15.05	15.70	104.3%
工学部店	11.00	13.90	126.4%
中央店	12.70	14.70	115.7%
農学部店	2.46	1.91	77.6%
医学部店	0.00	0.53	
印刷情報	7.42	7.47	100.7%
はるにれ	1.46	閉店	
計(t)	82.84	88.91	107.3%

不要になった古紙(書類・新聞・雑誌・段ボールなど)を組合員の方が入れられるように各店舗に回収BOXを設置し、紙の再資源化を行っています。はるにれが閉店したにもかかわらず、回収率は昨年より増加しました。

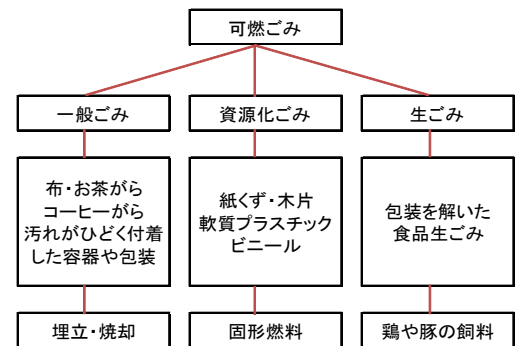
また牛乳パックは、学内3か所(会館店1階・中央店1階・北部店2階)にある回収BOXで回収を行っておりますが、昨年度よりも回収率が低下しました。

牛乳パック	09年度	10年度	前年度比
計(kg)	165	132	80.0%

## ◇ 資源の循環利用

### ■ ごみの分別状況

北大生協では2008年6月より一般ごみに含まれていた生ごみの分別を始めました。売れ残ったお弁当などを資源化ごみと生ごみに分別しています。主要店舗のリサイクル率（下表）は昨年とほぼ同様です。



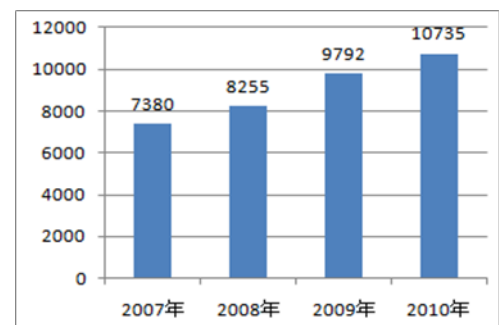
### ↓ 主要店舗のリサイクル率（2009→2010年度）

2009	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
会館/ターク	91.26%	88.26%	91.24%	90.87%	90.24%	90.83%	88.59%	91.86%	90.28%	90.54%	91.51%	92.23%	90.62%
北部店	79.66%	79.58%	74.73%	80.25%	73.37%	80.24%	75.84%	75.40%	80.59%	65.70%	76.24%	78.71%	76.63%
工学部店		66.30%	79.58%	72.89%	65.26%	73.50%	64.93%	67.48%	69.47%	71.45%	73.83%	66.61%	70.11%
中央店	89.77%	87.91%	86.09%	84.68%	88.98%	83.29%	80.99%	87.08%	86.17%	84.45%	82.79%	83.62%	85.82%
農学部店													
医学部店													
ポプラ店													
合計	70.28%	64.34%	65.03%	66.41%	60.21%	63.06%	57.48%	64.76%	66.34%	63.24%	64.77%	66.67%	64.49%
2010	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
会館/ターク	92.60%	90.03%	92.46%	93.26%	91.04%	89.55%	93.03%	92.03%	90.34%	88.65%	90.81%	86.10%	90.88%
北部店	85.65%	79.18%	68.33%	72.32%	83.27%	87.21%	75.58%	81.49%	78.06%	84.75%	82.97%	85.44%	79.89%
工学部店	70.15%	67.77%	74.42%	69.45%	71.00%	58.16%	67.02%	74.06%	65.69%	58.60%	62.31%	62.50%	66.94%
中央店	85.50%	78.20%	76.90%	79.03%	82.47%	82.35%	87.70%	86.48%	83.43%	86.95%	85.32%	77.89%	82.55%
農学部店													
医学部店													
ポプラ店													
合計	71.24%	64.35%	63.72%	64.84%	67.07%	65.48%	65.53%	67.22%	65.23%	64.77%	64.28%	62.42%	65.56%

### ■ 食堂廃油のBDF化

食堂で使われた揚げ物用の油（植物油）はすべて回収し、BDF（Bio Diesel Fuel）の原料としています。BDFは軽油と比較して環境負荷が非常に少なく、カーボンニュートラルの特徴を持つため、環境・健康に優しいエネルギーとして注目されています。

BDFは、主に札幌市の公用車（ゴミ運搬車など）に利用されています。



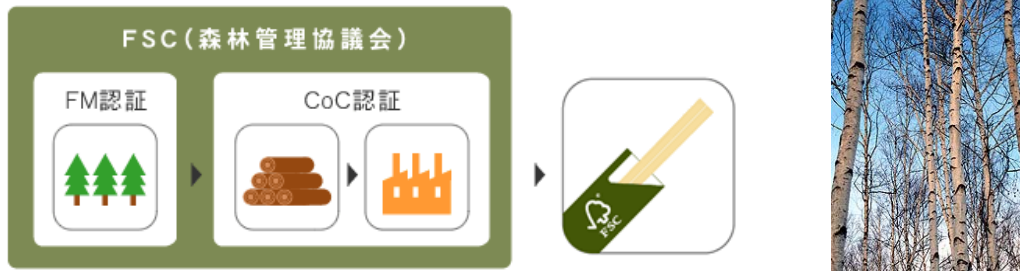
↑ 廃油回収量(単位はL)

※BDFのカーボンニュートラル: BDFを燃やせばCO<sub>2</sub>を排出するが、原料である植物が生育の過程でCO<sub>2</sub>を吸収しているため、大気中のCO<sub>2</sub>を増加させないという考え。

## ■ 国産間伐材割り箸の使用

北大生協の食堂で使用している割り箸は全て、持続可能な森林管理の行われている北海道下川町の FSC 認証林から産出している間伐材で作られています。日本の森林全体の約 40%を占める人工林は、間伐をしなければ丈夫な木が育たず荒廃します。間伐材とは、この過程で間伐された木材のことです。間伐材割り箸を利用することは、安定的に間伐材需要を増加させて、日本の森林の育成に協力することになります。

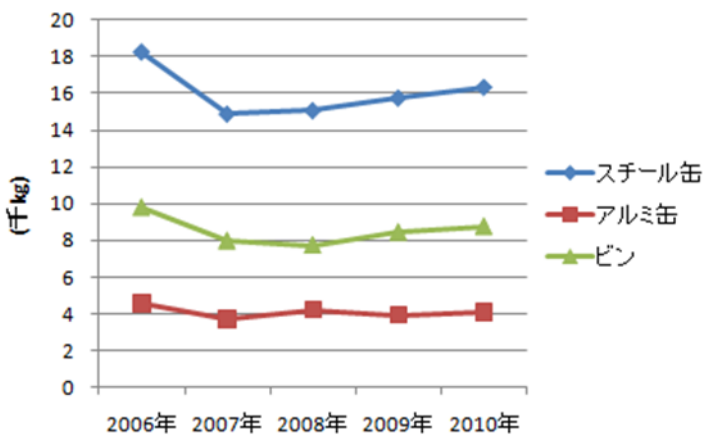
食堂では、カーボン箸と割り箸から組合員が選択してご利用できるようになっています。



↑ FSC 認証は、森林の管理認証 (FM 認証) と加工・流通過程の管理認証 (CoC 認証) からなっています。

## ■ ビン・缶・ペットボトルの再資源化

札幌キャンパス内の自動販売機に備えてある空き缶入れからビン・缶・ペットボトルをリサイクル業者に回収してもらっています。回収された資源は繊維製品など、さまざまな形で再資源化されています。



↑ スチール缶・アルミ缶・ビンの回収量

## ■ 産業廃棄物

食堂で使用している調味料などの廃プラスチックボトルや食材の入っていた発泡スチロール、商品購入に関わり不要になった PC や家電家具は、産業廃棄物として定期的に回収をしてもらっています。

店舗	会館	農学部	中央	工学部	医学部	北部	計
産廃混合(m <sup>3</sup> )	1.2	2.75	12.1	7	4	12.85	39.9
廃プラ混合廃棄物(kg)	294	18	61	30	0	259	662
廃プラスチック類(m <sup>3</sup> )	4	0	0.4	0.3	0	2.1	6.8
廃スチロール類(m <sup>3</sup> )	38.3	0	0.3	9.9	0	12.2	60.7
金属くず(m <sup>3</sup> )	0.9	0	2.2	0.4	0	2.4	5.9
ガラス・陶磁器くず(m <sup>3</sup> )	0.25	0	0.7	0	0	0	0.95
廃OA機器・周辺機器(台)	53	0	1	0	0	0	54
廃ノートPC(台)	15	0	0	0	0	2	17
廃蛍光管(本)	164	0	0	0	0	147	311
廃電球(kg)	3	0	2	0	0	5	10
廃乾電池(kg)	49	0	0	24	0	126	199

## ■ 使用済みトナーカートリッジ回収

北大生協では 2007 年 9 月から、使用済みインク・トナーカートリッジの回収を行っています。北大生協で集まったカートリッジは北大女性研究者支援室を通して送付しています。エプソンとキヤノンはベルマークに協賛しており、送付された使用済みプリンタトナーやインクカートリッジの量に応じてベルマーク点数を付与しています。

支援室は、集まったベルマーク点数をもとに 2009 年春、札幌旭丘高校など 4 校に理科教材を寄贈しています。現在は、生協店舗内に回収 BOX を設けているほか、訪問回収や学部ロビーでの特設回収 BOX の設置などを行っています。回収後は、生協で保管から発送までを行っています。

		～08年度	09年度	10年度	累計
キヤノン	本数	7,592	5,537	4,007	17,136
	点数	121,570	92,890	141,490	355,950
エプソン	本数	8,729	6,542	4,517	19,788
	点数	125,545	96,520	149,350	371,415
計	本数	16,321	12,079	8,524	36,924
	点数	247,115	189,410	290,840	727,365



ブラザーの森



ブラザー社員による植樹風景  
当日はブラザー社内でもエコ活動分の植樹が行われました。

また、ブラザーでは、回収した使用済みトナーカートリッジなどにエコポイントを付与し、ポイントに応じた植樹活動を行っています。北大生協はこの活動に賛同し、2010 年 3 月から運動に参加しています。2011 年 2 月までの北大生協の累積回収数は 374 個、換算ポイント(1 個 10 ポイント)はまだ植樹 0.4 本分程度(10,000 ポイントで 1 本分)ですが、いつか森になることを願って、組合員のみなさまと一緒に活動を続けてまいります。



## ◇ 環境保全

### ■ グリーン適合商品の優先供給

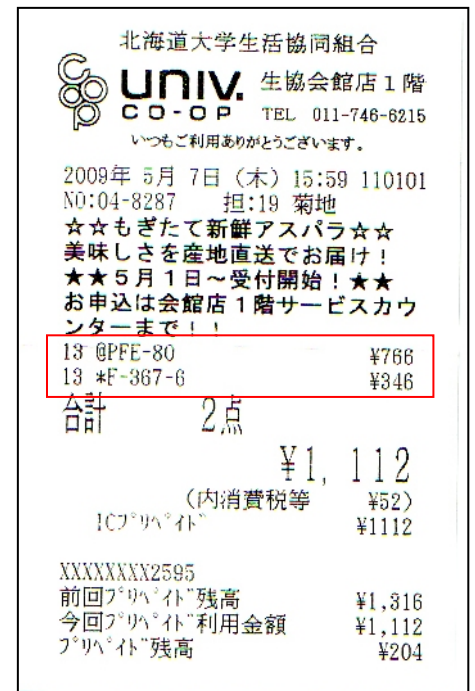
平成 13 年 4 月から「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」が施行されています。北海道大学もこの法律によってグリーン購入が義務付けられているほか、国民や事業者もグリーン購入に努めることとされています。大学生協では、それを受けて文具のプライスカードやお買い上げレシートに適合商品のマークを表示させています。右は文具カタログでのマークです。



しかし、グリーン適合商品の品質問題の発覚以降、適合商品の選定が難しくなっています。今後はグリーン購入に努めるのはもちろんですが、それ以外でも環境負荷の低い商品を積極的に扱うことを検討していきます。

※レシートでの適合商品表示→

- …商品名に「@」があるもの＝適合商品
- 商品名に「\*」があるもの＝非適合商品



### ■ 食堂排水の管理

各食堂には、厨房などからの排水に含まれる油脂を捕集・分解する「グリストラップ」が設置されています。グリストラップには生ごみや油脂が溜まるため、食堂では 1 日 2 回、職員が生ごみや汚泥を取り除く作業を行っています。これにより、排水中の油脂分などが直接下水道や浄化槽に流れることを防ぐことができます。

また、清掃を行っても発生する雑菌や臭いは、オゾン分解装置によって分解し排水を浄化しています。北大生協では、クラーク・農学部・中央・医学部・工学部の各食堂にオゾン分解装置があり、毎日の清掃がきちんと行われていれば、大がかりな清掃はほとんど必要ありません（北部・ポプラではオゾン分解装置が設置されていないため、年 2 回ほどのグリストラップ清掃が必要です）。

年に 1 回、水質検査を行い、排水中の油分等の確認を行っています。



↑ 清掃後のグリストラップ

(クラーク食堂)

## ■ 不要自転車・放置自転車の回収とリサイクル自転車の販売

組合員からの不要自転車の引き取り、および大学構内での放置自転車の回収を行っています。2010年度は不要自転車182台（昨年度213台）、放置自転車回収を10部局から計600台（昨年度12部局1,185台）行いました。放置前の回収を推進していくため、組合員への呼びかけの強化が必要です。

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	小計
引取り計	93	14	12	4	1	9	14	5	9	11	4	6	182
図書館				25									25
歯学部			23										23
高教機構	132												132
学務部						102			57				159
保健学科				33									33
病院		33											33
環境科学院		93					27						120
農学部		33											33
生協会館前			30										30
生協会館南		12											12
回収分計	132	171	53	58	0	102	27	0	57	0	0	0	600
合計	225	185	65	62	1	111	41	5	66	11	4	6	782

### 放置自転車・不要自転車の回収の流れ

#### 【放置自転車】

大学部局が警察に盗難届の有無を確認する



盗難車以外の自転車に警告文書をつける



3か月放置されたものについて連絡をいただく



提携する中古自転車販売店が定期的に引き取り、再生して会館前で販売します



←北大生協のリサイクル自転車に貼っているステッカー

不要自転車引き取りのご案内→

#### 【不要自転車】

組合員が生協会館に自転車を持参する



自転車防犯登録抹消書に記入していただく



店舗で保管



#### 不要自転車引き取ります!

～不要な自転車は生協が無償で引き取ります～

- 卒業や買い換えなどで、ご不要となった自転車は不法に投棄せず生協へお譲りください。
- 生協では使える自転車を整備し直してリサイクル自転車として活用いたします。
- 使えない自転車も無償でお引き受けして、生協で正式に処分いたします。

お申し込みは

北大生協会館店1Fカウンター  
又は3F理事会室へお越しください。



#### 【自転車の放置禁止】

- 生協会館はお買物のための駐輪と、リサイクル自転車の一時保管場所となっております。それ以外の駐輪は固くお断りいたします。

～以下の行為を禁止いたします～

- 生協会館に用いないときの日中の放置
- 週末・長期休暇などによる長期放置
- 夜間の放置



- 上記行為の場合、該当自転車を別の場所へ移動する事があります。保管に費用がかかる場合は自転車所有者にご負担いただけます。

北海道大学生生活協同組合

## 組合員・地域の方へ

これまでの内容でもご紹介しましたとおり、北大生協で行っている環境の取り組みの中には、組合員のみなさんや地域の方々にご参加・ご協力をお願いしているものがあります。この報告書をご覧いただいたことを契機に、これらの取り組みにご協力・ご参加いただければ幸いです。

### ■ 資源回収を行っています

北大生協の店舗では、下記のものについて資源回収を行っております。ご家庭でご不用になりましたものがありましたら、ぜひお持ちください。

- ・不要自転車引き取り …北大生協会館1階サービスカウンター
- ・廃食用油 …生協会館1階、工学部購買、北部購買、中央購買
- ・牛乳パック・古新聞 …生協会館1階、工学部購買、北部購買
- ・インクカートリッジ …生協会館1階、工学部購買、北部購買。トナーカートリッジも可

### ■ 組合員活動への参加をお待ちしています

北大生協では、機関誌の配布や組合員活動（組合員のみなさんと一緒に行う取り組み）を行っています。まだご存じない方には、ぜひご覧いただき、またご参加いただければと思います。

- ・6月上旬（大学祭期間） …ごみナビゲーション（学生組織委員会）
- ・機関誌配布 …letter（学生組織委員会）、きぼうの虹（院生・教職員委員会）
- ・「組合員の声」投稿 …各店舗の「声BOX」、または北大生協ホームページへ

### ■ 北大生協からの情報をご覧ください

北大生協からは、最新の情報をホームページ等でご紹介しています。また、過去の環境報告書や「組合員の声」などの情報もご覧いただくことができます。学生委員会のホームページでは、ごみナビゲーションの詳しい情報なども載っておりますので、ぜひご覧ください。ご質問等ございましたらお気軽に、メールまたはお電話にてお寄せください。

- ・北大生協ホームページ <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/>
- 「環境活動」リンク <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/soumu/kankyoku/>
- ・北大生協学生委員会ホームページ <http://hokudaigi.web.fc2.com/>
- ・北大生協学生委員会ブログ <http://hokudaigi.blog119.fc2.com/>
- ・北大生協水産支部学生委員会ブログ [http://blog.livedoor.jp/gi\\_marine/archives/716950.html](http://blog.livedoor.jp/gi_marine/archives/716950.html)
- ・北大生協院生委員会ホームページ <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/~insei/>
- ・北大生協留学生委員会ホームページ <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/isc/index.html>

ここまで「2010年度 北大生協環境報告書」をご覧いただき、ありがとうございました。

これまでのページでご紹介してきた取り組み・データは、いずれもまだまだ改善の余地があるものばかりです。ぜひ、組合員のみなさん、地域の方々のご協力とご指導を賜りながら、改善を進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも北大生協へのご支援をお願いいたします。

北大生協2010年度環境課題推進委員会 委員一同



発行：北海道大学生生活協同組合

編集：北大生協理事会

北大生協環境課題推進委員会

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目

TEL：011-746-6218

MAIL：seikyou@coop.hokudai.ac.jp

